

修学旅行北海道班 6月14日火曜

雨模様の中、岡山空港に全員集合 8:30分。沖縄班はもひとつ前に出発！

保護者の方々や校長先生に見送られながら岡山空港旅立つ。

飛行機は予定時刻通りに離陸。いつもながらの加速と不安定な気流によるジェットコースター状態がどよめきをうむ（ギャー、オー）。

そうこうするうちに飛行機は安定飛行に移りあっという間に羽田へ。

流石にでかい羽田では、乗り継ぎ便の gate までかなりの道のり、加えてメガネを紛失するなどのハプニング発生、結局メガネは羽田に置き去りとなりました（クシュン）。

なんだかかんだはあったものの無事、新千歳につきバスにてウポポイへ。

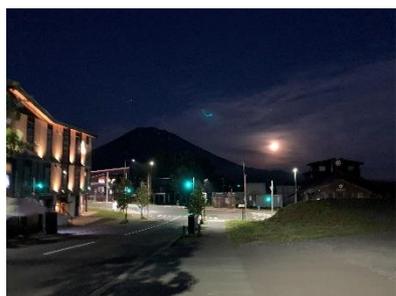


ウポポイでは、アイヌ文化に触れて人類の多様性に驚く。自然を活かす文化で、特に木を扱うのがとてもすごいと感じた。木に施す細工、木舟の種類など、特に鞆の細工は細かく見事なものだった。また、アイヌにも樺太アイヌと千島アイヌと2つに分かれている。そこは今国境を隔てているが、人類は一つ、人々は多様である地球に国境などないことがよくわかる。お互いを認め合い尊重することが大切だと実感したしだいである。

旅の初日は、ペンション村への移動で終わるが、やっぱり北海道は広い、宿泊のペンション村へは、2時間の道のりだ。バスガイドさんの口から出てくる案内は、湧水が湧くように流れ(途中湧水の公園でトイレ休憩しましたが..)、自分の感想いっぱいの案内は聞いていて面白く、たまにしゃべくり損ねるところなども素が出て着飾らないいい案内だった。



やっと着いたペンション村は、とても良い立地で気持ちの良いところだった。羊蹄山を目の前にした立地は解放感を覚える。ただ寒い！



ペンションの食事はおいしく、大移動の末おなかがすきおいしくいただきました。



さあ次の日は、体験コースに分かれる日
こうご期待☺☺